

国際物流競争力パートナーシップ ー各WGの検討イメージー

物流資材等WG

概要

電子タグの普及をはじめとする物流資材・機器の高度な利用等物流の効率化を可能とするための環境の整備(制度改善、専門家派遣による指導等)を進めるための課題と解決策を検討。

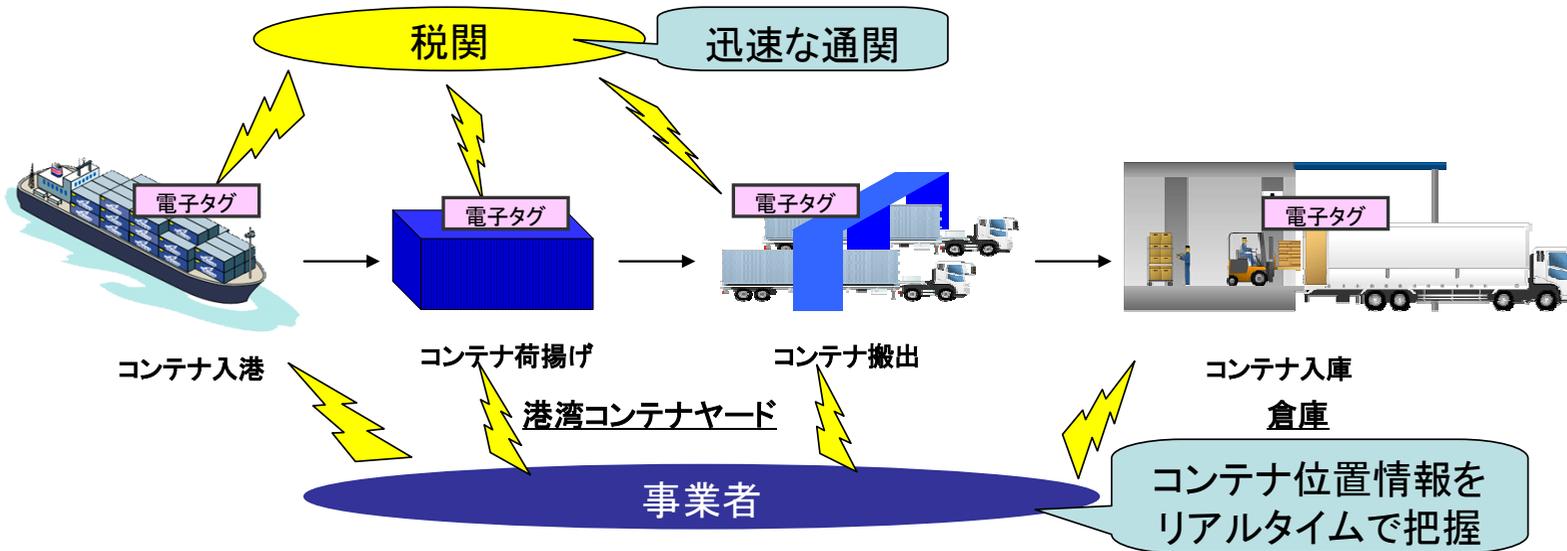
企業からの声

- 関係者間の情報共有や規格、法制度面の対応が進まず、パレットや通い箱、フォークリフトや倉庫等の物流資材、物流機器(以下、物流資材等)の利用が非効率になっている。
- 国際標準化が進む電子タグが、物流でも実用段階に近づいている中、これが上記の物流資材等と結びつくことで、物流資材等の高度な利用が可能になるはず。
- 一部の国・地域では、物流資材等の基本的な利用方法さえも十分に理解されていない。

行動計画策定に向けた検討事項(案)

- 各国での物流資材等の使用実態についての調査及び課題の抽出
- 現地の電子タグを巡る規格や法制度等の調査及び課題の抽出
- 電子タグを用いた物流資材等の高度利用等の物流の効率化を図るモデル事業の立案

国際物流における電子タグ活用のイメージ



アクティブタグ国際標準化のステップ

- ◆ EPC globalは、ISOによる通信プロトコル標準化作業の中核的機関。
- ◆ 日本の国際物流事業者のビジネスモデルによる電子タグ(アクティブタグ)活用モデルを構築し、EPC globalに提案する。



※EPCコード 現在、商品識別に使われているEANコード(日本ではJANコード)、個品ごとのシリアルナンバーコード及びその商品情報

人材育成WG

概要

アセアン各国と連携をとりながら、我が国企業の競争力に大きく影響する物流行政・業務の人材(行政担当官、管理のマネージャー及び現場の作業員)の質を向上させるための課題と、現地研修の実施、カリキュラムの策定、物流専門家によるアドバイスの実施等の解決策を検討。

企業からの声

- 各国において、物流管理の専門家層が不足している。
- 離職率が高く、社内教育の効果が上がりにくい実態がある。
- 現場の作業員の流通品質に対する意識が低い。
- 政府の人材育成施策が上記の問題意識の解消に必ずしも十分ではない。
- 物流行政担当官の物流政策立案能力を高める必要がある。
- 物流団体の機能、能力等を高める必要がある。

行動計画策定に向けた検討事項(案)

- (社)海外運輸協力協会の平成17年度調査等によるニーズ調査を踏まえ、人材育成研修のカリキュラムの策定
- 日アセアン交通連携物流プロジェクトにおいて現在調整を進めている、現地における物流人材育成研修の確実な実施
- 我が国企業の現地人材に関するニーズ調査
- 人材関連の現行施策の紹介(AOTS事業、JODC事業、タイでの物流アドバイザー育成事業、交通政策行政官研修等。)
- 効果的な人材育成のための新規施策の(例えば、カリキュラムの立案、普及等)の検討

これまでの人材育成に関する実績

専門家派遣(JEXSA):平成15年度9名 → 平成16年度9名 → 平成17年度13名
研修生受入(AOTS):平成15年度57名 → 平成16年度150名 → 平成17年度40名
交通政策行政官研修:平成15年度4名 → 平成16年度4名 → 平成17年度9名
物流近代化Ⅱ研修(JICA):平成15年度7名 → 平成16年度10名 → 平成17年度8名

事業例

物流高度化支援事業(JETRO)、ユニットロード研修(AOTS)、ASEAN諸国における物流効率化に関する調査(ア産協)、総合物流体系整備協力調査(JTCA)等

具体的な企業の声

<物流サービス人材の質の低さ>

- * 日系物流企業は、欧米系と違って人材現地化を進めているが、特に、分野横断的に物事を把握し、現場を管理することのできるマネージャー人材が枯渇している。
- * 港湾労働者不足によるコンテナの船積・船卸の長時間化(インドネシア)
- * ドライバーの交通安全、貨物品質の意識の低さによる輸送遅延や貨物ダメージ(タイ)

<鉄道運行管理の悪さ>

- * タイでは、鉄道は輸送頻度が少なく、定時運行が守られないため、トラック輸送に依存。

輸出入通関手続WG

概要

国際物流を円滑化し、リードタイムを短縮する上で重要な国境通過時の輸出入通関手続きのあり方をはじめとする行政による関与を改善するための課題と解決策を検討。

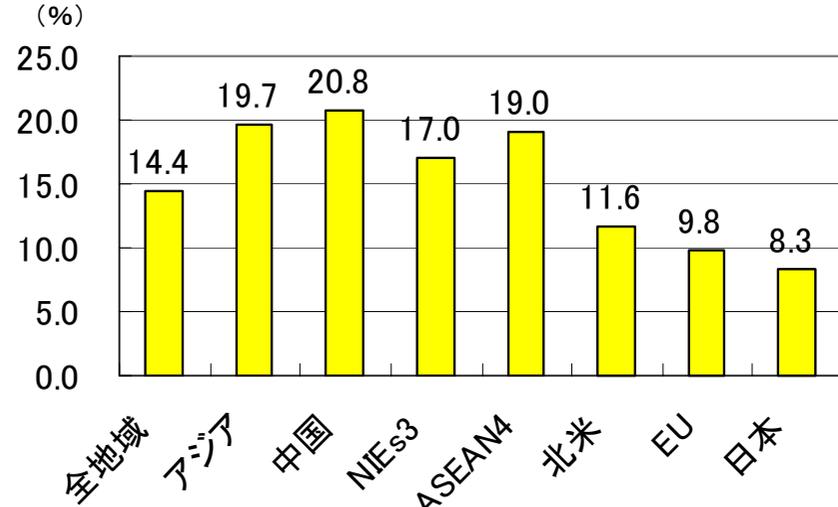
企業からの声

- 各国の通関が電子化しておらず、又は電子化していても電子通関に併せて書類提出も必要である。
- 通関に要する項目が多く、手続の煩雑化や長時間化を招いている。
- 税関によって同一の条件下の案件でも処理結果のばらつきがある。
- 国際物流に関して相手国政府等の行政関与や行政裁量が大きい。

行動計画策定に向けた検討事項(案)

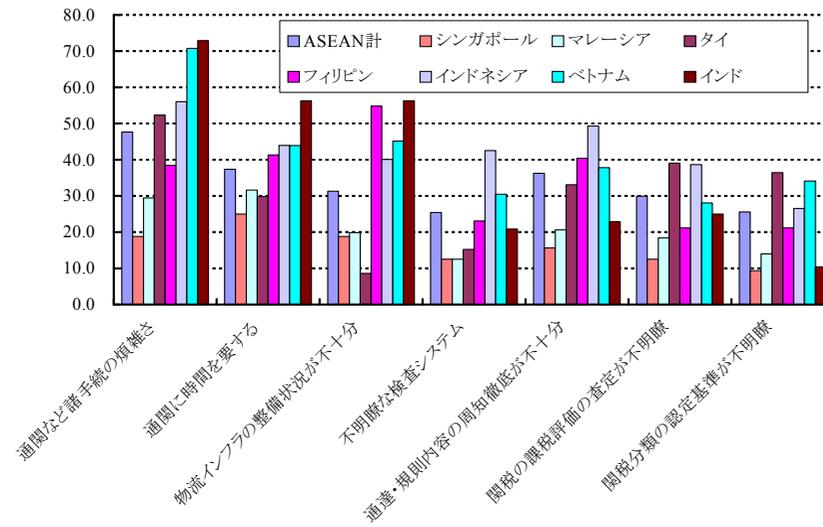
- 各国の輸出入通関手続に関する実態や我が国企業のニーズの把握、改善策の検討
- アセアンシングルウィンドウの進捗状況等の調査、推進のための実証事業の立案

物流関連費用の割合比較(2004年度)



資料) 経済産業省「海外事業活動基本調査」、日本ロジスティクスシステム協会「2004年度物流コスト調査」より作成
※日本のデータに関しては2002年度のものである。

(%) 日系企業の抱える貿易制度面での問題点 (複数回答)



(出所) 平成16年度ジェトロ日系製造業活動実態調査 (2005年2月実施)。

ASEAN諸国の通関制度の問題点

国・地域	内容
タイ	・担当官により関税評価、分類判断が異なる。
インドネシア	・「ブロック制度」(一部輸出入申告に問題がある場合、当該荷主と通関業者の全申告が拒否される制度)。 ・担当官による評価・分類の恣意性、担当者不在の際の対応、未整備な港湾インフラなど。
マレーシア	・手続き迅速化、鉄鋼・自動車などの輸入許可制度の改善。
フィリピン	・税関コンピュータのシステムダウンなど通関手続き遅滞。 ・未整備な港湾インフラなど。
ベトナム	・法令等ルール整備進むも、不透明な手続きや不透明な運用が散見。

(出所) JETRO海外調査部「ASEAN各国における関税・通関制度の実態と問題点」。

各国における通関手続きに要する時間

	航空便	海運貨物
ドイツ	1-2日	1-2日
フランス	1日	1日
イタリア	2日	2日
オーストリア	1日	1日
ベルギー	0.5日	0.5日
米国	5日	12-15日
カナダ	1日	1日
日本	2日	5日
中国	2-3日	3-4日
香港	1-2日	2-3日
台湾	3日	5日
シンガポール	2-3日	2-3日
タイ	7日	14日
マレーシア	1-2日	3日
インドネシア	2-4日	2-4日
フィリピン	4日	3日
ベトナム	5日	7日
インド	7-10日	6-10日

(資料) IELAウェブサイトから作成。

具体的な企業の声

タイ: EDI通関に並行して書類も提出する必要があり、EDIによるメリットがない。
通関手続き後の修正申告制度がなく、担当官との個別の交渉・取引が発生したり、関税還付が受けられない。

ベトナム: 輸入手続きに要する書類が多く書類作成や通関手続きに時間がかかる。
税関全体で情報共有がなされておらず、国境の税関だけで通関作業が完了しない。

インド: ニューデリー空港は24時間稼働しているが夜間の通関対応がない。
通関業務の電子化が進んでいない。

インドネシア: 港湾は24時間稼働しているが、税関は17時で終了してしまう。
空港の上屋でのハンドリングの際、税関職員の立会いを要するため、税関の執務時間外で貨物の引取ができない。

中国: 税関間での手続きにばらつきがあり、標準化が必要。
中国では税関職員個人の裁量幅が大きく、判断も職員によってバラバラ。

広域物流網WG

概要

ASEANを中心とした東アジアをグローバルな輸出拠点とし、域内での国を越えた部材の物流への期待も高まる中、それらを支えるインフラ整備等を各国に促すための課題と解決策を検討。

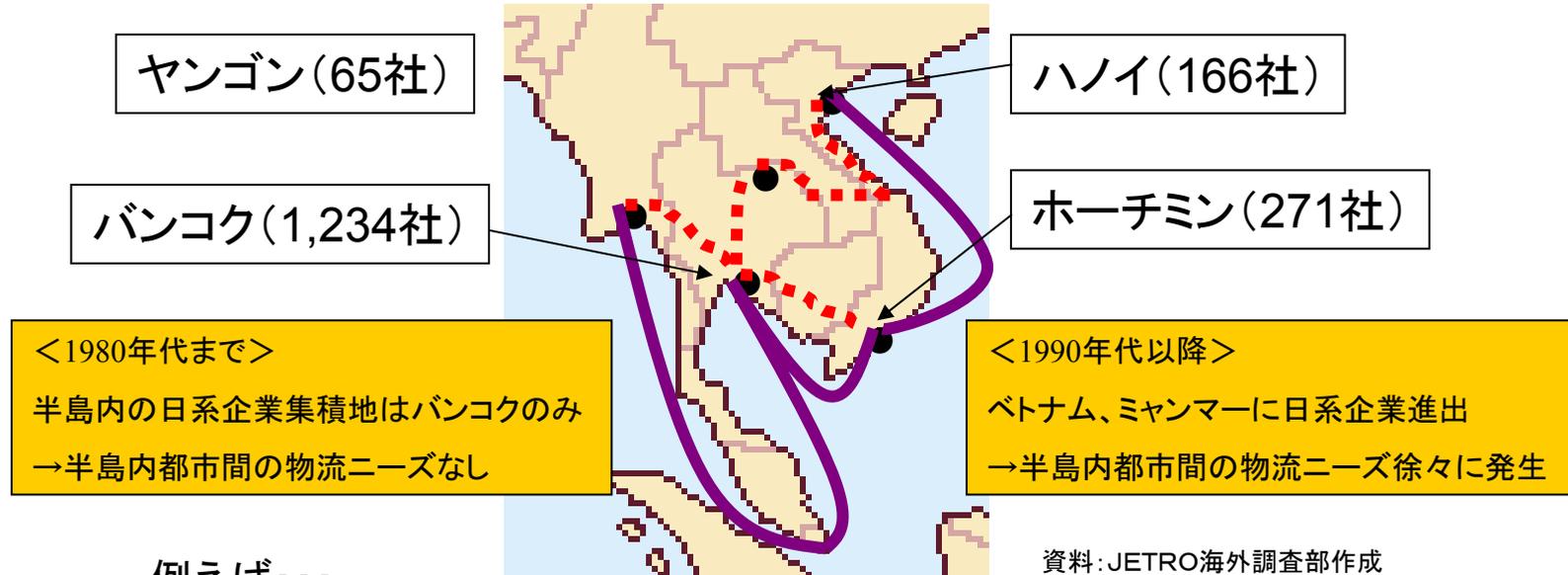
企業からの声

- 我が国企業がグローバルな輸出拠点とするASEANでは、物流インフラ整備が不十分。
- ASEAN域内での物流のリードタイムを短縮する可能性のあるルートも整備が不十分。
(例: バンコク~ハノイ→海上: 10~15日、陸上: 3~4日)
- 国外でのハードインフラを整備する我が国のODA等は、基本的に二国間が前提で、我が国企業の国を越えたASEAN域内物流のニーズが反映し切れていない。

行動計画策定に向けた検討事項(案)

- ASEANを中心とした東アジア域内でのインフラやODA等に対する我が国企業の物流ニーズの把握、整理
- 各国で我が国企業が物流業務を遂行する上での課題解決の検討及び提言のとりまとめ

—— 現在中心の海路輸送ルート ■■■■■ 潜在的なニーズが見込まれる陸路輸送ルート



例えば・・・

バンコク～ハノイは... 海上輸送では所要10～15日
ラオス経由で陸送すれば、所要3～4日

ただし、橋の未整備、国境での貨物の積替(コスト要因)などが課題

想定される広域ルート

- ① バンコク～ラオス～ハノイ
- ② バンコク～カンボジア～ホーチミン
- ③ バンコク～ヤンゴン

具体的な企業の声

- ハード面のインフラ(道路網、通関施設)が不十分。
- 治安が悪く、輸送途中の貨物の安全性が確保できない。
- 他国の輸送車両の運行に関する規制のため、貨物を積み替えなければならない。